

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名

合同会社 未来のトビラ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5			学齢期に合わせス ペースを分ける、活 動目的ごとのスペ ースを作っている。	その時の状況に合わせ環境 作りをおこなってゆきます。
	②	職員の配置数は適切である	5				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	1	4			事業所内・外の設備等点検 を定期的におこない、安全 に努めてゆく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している		5			会議・研修の中で全職員に PDCAサイクルの意識を持 ち、業務に取り組むよう徹 底。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5			個別面談等の時に 意見要望などをい ただき取り入れて いる。	日々のミーティングで状況・ 児童の変化等にあわせ、今 後も業務改善に努めてゆく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			5		今後は第三者外部評価を実 施し業務改善をおこなって いきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	5				職員のニーズに合わせた研 修や定期的研修会をおこ なってゆきます。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5				今後もケース会議等で色々 名角度から見た意見を受け 取り計画書を作成してゆく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	5				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5				個々のアイデアをミーティ ングで上げ職員全体で月ご とにかえていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5				マンネリにならないよう 内容に変化をつけ、チャレ ンジしやすい課題プログラムを 設定
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	5				個々の特性に合わせ個別・ 集団活動の計画を作成して ゆく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	5				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5				
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				支援経過記録をとることで 児童の変化が・様子が分か り保護者と共有情報をおこ す
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	5				定期モニタリングを行うこと で児童の状況に合わせた支 援が出来、個別計画につな げる子を今後もおこなって ゆく。